

公益社団法人日本地震工学会 第20回理事会議事録

A. 日時：2016年3月15日（火） 16時00分～19時05分

B. 場所：専売ビル 8F 第1会議室

C. 出席者：（会長）目黒公郎（副会長）志波由紀夫，中埜良昭

（担当理事）副島紀代，吉見雅行，佐藤正行，藤川 智，大堀道広，高橋郁夫，中村いずみ，中村友紀子，小檜山雅之，原田健二，楠 浩一，澤田純男，甲斐芳郎（Skype 出席）

（監事）勝俣英雄

欠席：（副会長）倉本 洋，（担当理事）片岡正次郎，室野剛隆，藤原広行，（監事）中村 晋

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局長

D. 提出資料

資料 20-00 第20回理事会議事次第（副島理事）

資料 20-01 公益社団法人日本地震工学会第19回理事会議事録（案）（吉見理事）

資料 20-02 公益社団法人日本地震工学会第9回正副会長会議議事録（案）（吉見理事）

資料 20-03 会務報告（2015年1月6日～2016年3月15日）（副島理事）

資料 20-04 会計報告（佐藤理事・原田理事）

資料 20-05 震災対策技術展・震災予防講演会の報告（中村友紀子理事・片岡理事）

資料 20-06 台湾南部地震の対応について（楠理事）

資料 20-07 論文編集委員会報告資料（大堀理事）

資料 20-08 会誌編集委員会からの報告（高橋理事）

資料 20-09 情報コミュニケーション委員会報告資料（小檜山理事・中村いずみ理事）

資料 20-10 【メール審議報告】原子力総合シンポジウムの共催について（吉見理事）

資料 20-11 【メール審議報告】新入会員の承認（H28年2月分）（吉見理事）

資料 20-12 平成28年3月理事会 個人会員 入退会一覧（藤川理事）

資料 20-13 平成27年度 日本地震工学会委員会委員名簿 2016.03.15改訂（吉見理事）

資料 20-14 後援（2件）協賛（1件）名義使用依頼審議資料（吉見理事）

資料 20-15 新規研究委員会の立ち上げについて（倉本副会長）

資料 20-16 平成28年度事業計画（案）（吉見理事）

資料 20-17 平成28年度収支予算書（案）（原田理事）

資料 20-18 平成27年度功績賞（副島理事）

資料 20-19 平成27年度功労賞（副島理事）

資料 20-20 平成28年度論文賞（倉本副会長）

- 資料 20-21 平成 28 年度論文奨励賞（大堀理事）
- 資料 20-22 定款の改定に関する資料（副島理事）
- 資料 20-23 大会規程の改定について（澤田理事）
- 資料 20-24 大会 2016・プログラムについて（甲斐理事）
- 資料 20-25 次期理事会理事候補者の選考について（吉見理事）
- 資料 20-26 2016 年度「会長候補・監事候補」選挙スケジュール（藤川理事）
- 資料 20-27 南海地震 70 周年シンポジウム（地震学会との共催）について（吉見理事）
- 資料 20-28 会誌等の著作権の取り扱いについて（高橋理事）
- 資料 20-29 17WCEE の招致活動に関する資料（中埜副会長）
- 資料 20-30 会員アンケートに関する資料（副島理事）
- 資料 20-31 今後の予定について（吉見理事）

20 名中 16 名の出席があり、理事会の成立が確認された。

出席理事の内 1 名（甲斐理事）は Facetime を利用した TV 会議システムによる参加であり、会議に先立ち、甲斐理事との双方向ビデオ通信が良好に行われていることが確認された。

E. 議題：

E 1. 報告事項

1) 第 19 回理事会議事録（案）の確認（吉見理事 資料 20-01）

吉見理事より資料 20-01 を基に前回議事録案が説明され承認された。

2) 第 9 回正副会長会議報告（吉見理事 資料 20-02）

吉見理事より資料 20-02 を用いて 3/2 に開催された（拡大）正副会長会議の報告があった。

3) 会務報告（副島理事 資料 20-03）

副島理事より資料 20-03 を基に会務報告が行われた。

4) 会計報告（佐藤理事 資料 20-04）

佐藤理事より資料 20-04 を基に会計報告があった。報告書収入、セミナー収入が予算に比べて増加し、今年度は約 650 万円のプラス収支の見込みである。公益目的事業会計と法人会計の配賦を昨年度並にする予定であることが報告された。

5) 震災対策技術展・震災予防講演会の報告（中村友紀子理事 資料 20-05）

中村友紀子理事より資料 20-05 に基づいて震災対策技術展および震災予防講演会の報告があった。後藤先生が内作されたセミナーの配付資料および理事会審議の予算案との差異について確認することとなった。

6) 台湾・美濃地震の対応について（楠理事 資料 20-06）

楠理事より資料 20-06 に基づき、2016 年 2 月に発生した台湾南部地震への対応について以下の通り報告があった。

- ・地震発生直後に災害調査関連学会連絡会を通じて連絡を取り合った。
- ・建築学会の調査団派遣の動きを受け、台湾南部地震対応本部を立ち上げ、合同調査団を派遣した。
- ・楠理事が地震工学会の立場を兼ねて合同調査団に参加し、現地調査費用として 10 万円程度を支出した。
- ・建築学会と地震工学会との共催の調査速報会（参加者約 100 名）を 3/9 に東大地震研究所会議室にて実施した。
- ・災害調査報告書を出版予定である。

7) 論文集編集委員会からの報告（大堀理事 資料 20-07）

大堀理事より資料 20-07 に基づき、論文集の編集・発刊状況についての報告があった。

8) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事 資料 20-08）

高橋理事より資料 20-08 に基づき、会誌の編集状況についての報告があった。幹事 2 名体制を試行中であること、会誌 No. 28 は東日本大震災の特集に加え恒例の学会の活動紹介（研究委員会など）も予定されややページ数が増えること、6 月末発刊予定であることが報告された。

9) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小檜山理事・中村いずみ理事 資料 20-09）

小檜山理事および中村いずみ理事より資料 20-09 に基づき、情報コミュニケーション委員会からの報告があった。JAE News299 号の発刊、ウェブサイトでの「東北地方太平洋沖地震に関連した日本地震工学会の活動（地震後 5 年間の地震工学会の取り組み一覧）」の作成と公開、JAE Newsletter4 月号は防災力の向上に向けた特集を組むこと、等が報告された。

10) 【メール審議】原子力総合シンポジウムの共催について（吉見理事 資料 20-10）

吉見理事より資料 20-10 に基づき 2016/2/10 に決議された原子力総合シンポジウムの共催についてのメール審議報告があった。

1 1) 【メール審議】新入会員の承認 (H28 年 2 月分) (吉見理事 資料 20-11)

吉見理事より資料 20-11 に基づき、2016/2/18 に決議された新入会員の承認についてのメール審議報告があった。

E 2. 議 案

第 1 号 入退会者 (藤川理事 資料 20-12)

藤川理事より資料 20-12 を基に新入会員 (法人 1) および退会者 (法人 2, 正会員 21, 学生 6) について説明され、承認された。個人会員数は昨年同時期と比べて微減であることが報告された。また 3/15 現在の会費未納者について報告があった。

第 2 号 委員会委員の委嘱 (吉見理事 資料 20-13)

吉見理事より資料 20-13 を基に委員会委員の委嘱について説明があり、承認された。委員会等の人材について特定の方に集中しないよう、他学会を含めた情報共有が必要であるとの指摘があった。

第 3 号 共催・後援・協賛等 (吉見理事 資料 20-14)

吉見理事より資料 20-14 を基に継続案件 1 件 (後援)、新規案件 2 件 (後援 1, 協賛 1) について説明があり、すべて承認された。

第 4 号 新規研究委員会の立上げについて (副島理事 資料 20-15)

欠席の倉本副会長に代わり、副島理事より、資料 20-15 に基づき研究統括委員会で承認された以下の新規研究委員会 2 件の設置が提案され、承認された。

・「原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会 (委員長: 高田毅士, 2 年間)」

・「津波等の突発大災害からの避難における諸問題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会 (委員長: 甲斐芳郎, 2 年間)」

新規研究委員会の募集方法について、募集期限を区切る、若手中心の提案を優遇するなど、現状以外のやり方があるのではとの提案があった。

第 5 号 平成 28 年度事業計画 (案) (吉見理事 資料 20-16)

吉見理事より資料 20-16 を基に平成 28 年度事業計画（案）が説明された。内閣府への提出資料になるものである。各部会・委員会からの計画を盛り込み、必要に応じて簡略化したものであるとの説明であった。新規研究委員会の記載をすること、文言の若干の修正、研究委員会の募集について盛り込むという修正の後、事業計画が承認された。

第 6 号 平成 28 年度収支予算書（案）（原田理事 資料 20-17）

原田理事より資料 20-17 を基に平成 28 年度の収支予算書（案）が説明され、承認された。なお、次年度単年度では約 300 万円の支出超過となるが、これは今年度黒字となった約 650 万円の 2 分の 1 を繰り越して次年度の事業に充てる趣旨であることが確認された。単年度赤字予算を組むことに関して、次の説明、意見、指摘があった。

- ・支出が増えた原因は、事務局の強化に伴う費用と、従前の予算編成では十分になされていなかった各部の必要経費（主に交通費）の計上である。
 - ・平成 26 年度と平成 27 年度に剰余金が出て事業費の半分程度までに積み上がったので、これの一部を不足部分に充てるものである。
 - ・交通費を全額支給することを決めてしまうと、以後、それを取りやめることが難しくなるのではないか。
 - ・2～3 年で繰越金がなくなるため同じことを何年も続けることはできない。こうした措置は 28 年度に限る。
 - ・今後も活動に必要な費用が収入を上回るのであれば、それに見合う収入増の方策を考えていかなければならない。
 - ・企画事業についても、確実に収益を上げる企画、収支拮抗でよい企画、収益を期待しない企画、というように目的と対象者等を勘案して明確な方針を立てて予算計画を立てるべきである。
 - ・将来に向け、講習会や出版事業等を学会の収入の柱の一つとすることも検討すべき。
 - ・予備費がゼロでは、不測の出費に対応できないのではないか。
- これらに加え、収支予算書と事業計画との関係が読み取りにくいとの指摘があり、今後改善を検討していくこととなった。

第 7 号 今年度の表彰について

今年度の表彰委員会で承認された各賞の受賞候補者について、以下の通り審議が行われた。

(7-1) 功績賞（副島理事 資料 20-18）

副島理事より資料 20-18 に基づいて以下の通り功績賞の受賞候補者 2 名が報告され、承認された。

- ・鈴木浩平氏（首都大学東京）
- ・片山恒雄氏（東京大学名誉教授）

(7-2) 功労賞（副島理事 資料 20-19）

副島理事より資料 20-19 に基づいて以下の通り功労賞の受賞候補者 1 名が報告され、承認された。

- ・新海元氏（東京ガス株式会社）

(7-3) 論文賞（大堀理事 資料 20-20）

大堀理事より資料 20-20 に基づいて以下の通り論文賞の受賞候補 1 編（対象者：3 名）が報告され、承認された。

- ・論文題目：高精度・高速の緊急地震速報を目指して一気象庁観測網と Hi-net の結合処理

—

著者：山田真澄，溜淵功史，Stephen Wu

(7-4) 論文奨励賞（大堀理事 資料 20-21）

大堀理事より資料 20-21 に基づいて以下の通り論文奨励賞の受賞候補者 2 名が報告され、承認された。

- ・仲野健一氏（安藤ハザマ）

対象論文：スペクトルインバージョン手法に基づく強震動特性の統計的性質に関する研究 その 2 分離した特性に対する詳細分析

- ・地元孝輔氏（東京工業大学）

対象論文：微動アレイ探査による立川断層帯周辺における表層地盤の S 波速度構造モデルの推定

第 8 号 定款の改定について（副島理事 資料 20-22）

副島理事より資料 20-22 に基づいて定款の改定（案）が説明され承認された。定款に基づき、本案にて 5 月の定期社員総会に諮ることとなった。また、定款の変更にかかる他の規程類の改定については、次回理事会にて審議することとなった。

第 9 号 大会規程の改定について（澤田理事 資料 20-23）

澤田理事より資料 20-23 に基づいて大会規程の改定（案）が説明され、改定日・附則等を追記した上で承認された。

第10号 大会2016・プログラムについて（甲斐理事 資料20-24）

甲斐理事より資料20-24に基づいて2016年度大会のプログラムについて以下の通り説明があり、承認された。

- ・平成27年度と同様にパラレルセッションは設けず、ポスターセッションを多くするようプログラムを組んだ。

- ・特別セッションは津波、避難、原子力とし、それぞれ有川先生、後藤先生、高田先生にお願いする。それぞれの先生に実行委員になっていただく。

- ・詳細は実行委員会で詰める予定である。

大会の収支計画についても説明があり、参加費は提案通りとすることで承認された。ただし収支計画全体については、参加人数の見込みや実行委員会の会議費・旅費も考慮の上、再検討をして必要があれば修正することとした。

E3. 懇談事項

1) 次期理事会理事候補者の選考について（吉見理事 資料20-25）

吉見理事より資料20-25に基づいて次の社員総会で改選される次期理事会の理事候補者について説明があった。前回理事会で提示した理事会のスリム化に向けて、次年度は退任理事8人に対し1名減の7名の新任理事を選考することとなった。4月中に候補者の内諾をとり、4月の理事会で審議する必要があるため、早急に人選をすることとなった。

2) 2016年度「会長候補・監事候補」選挙スケジュールについて（藤川理事 資料20-26）

藤川理事（選挙管理委員会委員長）より資料20-26に基づき、2016年度の会長候補・監事候補の選挙スケジュールが説明された。

3) 南海地震70年記念シンポジウムについて（吉見理事 資料20-27）

吉見理事より資料20-27に基づき、2016年度大会の2日目に行う南海地震70周年シンポジウムの準備状況について説明があった。

4) 会誌等の著作権の取り扱いについて（高橋理事 資料20-28）

高橋理事より資料20-28に基づき、会誌等の著作権の取り扱いについて説明があった。本会でレイアウトした会誌のPDFは、会誌が発刊後1年を経過しないと公開されないことを鑑み、著者であっても1年間はWeb等での公開を不可とすることが確認された。なお、現行の著作権規程では対処できない事項が多いと考えられることから、規程の見直しをして

いくこととなった。

5) 17WCEE 関連 (中埜副会長 資料 20-29)

中埜副会長より資料 20-29 に基づき、17WCEE の招致活動について説明があった。費用面の有利性から仙台での開催を念頭に活動予定。各種補助金や支援を得るための活動を行っていることが報告された。

6) 会員アンケートについて (副島理事 資料 20-30)

副島理事より資料 20-30 に基づき、会員向けのアンケートについて説明があった。今回のアンケートは個人会員 (正会員・学生会員・名誉会員) 向けとし、3 月末～4 月上旬に実施する予定であることが報告された。

7) 今後の予定について (吉見理事 資料 20-31)

吉見理事より資料 20-31 に基づき、来年度を含む今後のスケジュールについて説明が行われた。

次回予定：平成 28 年 4 月 19 日 (火) 16:00 より

記録担当：総務理事 吉見雅行

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 28 年 3 月 28 日

議 長 目 黒 公 郎

監 事 勝 俣 英 雄